

会議議事録

会議名	第3回学校関係者評価委員会	
開催日時	2017年2月19日(日) 10:00～11:30	
開催場所	彰栄リハビリテーション専門学校 会議室	
参加委員	参加者9名	工藤秀機、佐藤太智郎、原島宏明、山本隆、浦田祐美子 帆苺猛、保崎清人、芦野裕一、長原将士
	欠席者0名	
配付資料	1. 2016年度学校関係者評価委員会委員名簿	
会議録	<p>1. 校長挨拶(保崎) 開会の挨拶。</p> <p>2. 理事長挨拶(帆苺) 帆苺猛理事長から挨拶。</p> <p>3. 委員長挨拶(工藤) 工藤秀機先生から挨拶。</p> <p>4. 今年度の報告(保崎) 職業実践専門課程と認定された最初の年度であった。学園自体が120周年記念の年にあたり、創立記念日に120周年記念礼拝を行うとともに記念誌を発行した。 「新しい学校種」については、設置基準の告示が今年7月頃と言われている。将来計画検討委員会において、その対応につき検討が始められたところである。 3年前より進級に関する規程を難しくしたため、退学者が増加した。しかし、これは想定範囲内であった。 今年度の昼間部は定員を確保したが、夜間部は減少した。その理由は、社会人対象である専門実践教育訓練給付金に関連していると考えられる。学生の質については、昼・夜間部ともに良くなってきている。定期試験における再試験受験者数も減少傾向を見せ、1年生の退学者や留学者が激減した。 各種学校行事も、すべて予定どおり行われた。また、学園祭の内容が学生の希望により変更された。 臨床実習指導者会議を2回開催して、本会における意見を参考に学生の負担を軽減する方法につき、学校の方針を説明した。また、可能な限り「生活行為向上マネジメント」の考えを導入した指導方法をお願いしたが、施設間で対応できる範囲にかなりの差異があった。</p> <p>5. 意見交換 (1) 介護報酬の部分では、地域包括ケアシステムに力を入れている。 また、特別養護老人ホームも在宅復帰を目指す方向性にある。 (2) 来年度の医療報酬及び介護報酬の同時改定がポイントとなる。リ</p>	

	<p>ハビリについては、個別対応から包括（チーム）対応へ変わる可能性が高くなっている。</p> <p>（3）訪問リハビリについては、ケアマネージャーから報酬で外される部分について、訪問リハビリに依頼があるケースの需要が増えている。</p> <p>（4）今後の就職状況については、病院等が今のペースで採用していただけるかは、難しいのではないかとと思われる。</p> <p>6. 次回の日程について（長原）</p> <p>次回の日程が提案され、第1回学校関係者評価委員会を2017年6月25日（日）10:00～11:30にて開催することが決定した。また、詳細については、後日連絡することが確認された。</p> <p>7. 閉会</p>
--	---